

福島県環境基本計画の進行管理（令和4年度版福島県環境白書）に係る事前意見と対応（案）

No.	資料	ページ	意見等	対応（案）	委員名	担当課室等
1	2-1	4	○ 1人1日あたりごみ排出量を減らすための、もっと効果的な廃棄物施策を県としてうつことができればと思います。	○ 「福島県廃棄物処理計画」の目標達成に向け、市町村と連携し、削減が確実に進むよう、効果的な施策を検討してまいります。	沼田委員	一般廃棄物課
2	2-1	4	○ マイボトル・マイカップ推進キャンペーンを実施して、マイボトル・マイカップの利用がどれくらい進んだのかというのが成果として記載されるべきだと思います。他の取り組みについても同様（今の内容だと、タイトルは「第4次環境基本計画期間における取組」と思います）	○ 成果の把握が困難な項目については、計画期間中の取組を記載していたところです。 ○ ご意見を踏まえ、標題を「第4次環境基本計画期間（平成25年度～令和3年度）における取組・成果」へと修正しました。	沼田委員	生活環境総務課 環境共生課
3	2-2	23	○ 「各種施策」「に関する施策」とありますが、どういう施策なのか、具体的に分かるようにして頂ければと思います。	○ （1つ目、2つ目のマルについて）別紙のとおり、「福島県廃棄物処理計画」における廃棄物の発生抑制、再生利用促進、最終処分量の削減についての目標達成に向け、産業廃棄物税等を活用するなどにより、例として次の事業を実施しました。」に修正します。	沼田委員	一般廃棄物課 産業廃棄物課
4	2-2		○ ビッグパレットふくしまで開催されているREIFへの来場者数等を、指標の一つに入れてはと思います。	○ ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま）は、再生可能エネルギー関連産業の普及啓発を目的に開催しているところです。 ○ 再生可能エネルギー関連産業の活性化の状況については、既に指標に設定している「再生可能エネルギー関連産業の工場立地件数（累計）」及び「再生可能エネルギー関連の産学官協働研究実施件数（累計）」で把握・評価していることから、来場者数等は指標に設定しないこととします。	沼田委員	次世代産業課